

協働評価シート

事業名		新居浜繁栄のシンボル！自転車のまちづくり推進事業	実施年度	平成25年度
部 局		環境部	課 所	環境保全課
団体等の名称		元気！プロジェクト		
評価項目			評価者	評価
相互理解	それぞれの特性や立場を理解し合えたか	お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
対等	双方が対等の立場に立っていたか	対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。（新たな自発的事業展開につながり自立化が進んだ場合はA評価）	団体等	A
			市	A
目的共有	双方が協働事業の目的を共有できたか	協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	B
			市	B
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	B
			市	B

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

団体等	<p>元気！プロジェクトでは、自転車を活用したまちおこしを目指しており、今回の事業による調査やマップを活用し、新たなサイクリングコースの設定などが容易になる。</p> <p>鉱山鉄道跡の自転車道を利用したコースは、史跡や名所も多く、郷土の歴史や文化を身近に感じることができる。</p> <p>今後もサイクリングツアーを継続していきたい。</p>
市	<p>本市は、自転車歩行者専用道が整備されているにも関わらず、それらを活用したサイクリングロードマップはなかった。</p> <p>ガイド付きのサイクリングツアーを開催し、また上部、川西、川東のそれぞれの地区で、サイクリングコースを設定することで、自動車から自転車への乗り換えが進むことが期待でき、二酸化炭素の排出抑制により地球温暖化の防止に寄与できる。</p>
相互協議 結 果	<p>元気！プロジェクトは、サイクリングツアーの実施において実績があり、ニーズに応じたツアーが開催でき、アンケート調査における参加者の満足度も高かった。</p> <p>イベントにあわせてツアーを開催したことで、参加者以外にも、多くの市民に自転車の利用促進についてアピールできた。</p>